

『北海道における脱炭素社会に向けた取り組み』の発行と「シンポジウム」開催のご案内

北海道の多様な資源を活用し、脱炭素社会の実現に貢献していくには、地域特有の課題を認識しつつ、その解決に向けた省エネ対策など地道な取り組みや、現在の技術でも可能な再生可能エネルギーの利用拡大を進めていくことが重要と考えられています。

当協会では、今後の北海道における脱炭素社会に向けた普及・展開に寄与すべく、道内の企業や大学等の研究機関で進められている取り組み、また自然エネルギーの導入政策を推進し、国内で地域熱供給を広く普及するデンマークの事例などをまとめた冊子を発行します。

この発行に合わせて「シンポジウム」を開催します。参加希望の方は、下記の問い合わせまで申し込みください。シンポジウムに参加申込を頂いた方に限り、冊子を配布します。ぜひ、ご参加ください。

一般財団法人 北海道開発協会 開発調査総合研究所

『北海道における脱炭素社会に向けた取り組み』（12月上旬発行予定）

（執筆者）

■北海道における脱炭素社会の実現に向けて

・石井 一英 北海道大学大学院工学研究院

■北方型住宅の展開

・廣田 誠一 北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所建築研究部

■地域に根ざした持続的な林業・木材産業

・大越 敏弘 丸玉木材(株)

■バイオガス発電の現状と展望 —バイオガス熱電併給システムの負荷応答試験からわかったこと—

・石川 志保 北海道大学大学院工学研究院

■北海道における木質バイオマス利用

・山形 定 北海道大学大学院工学研究院

■バイオガスからメタノール・ギ酸を生成する高度技術の開発

・保井 聖一 エア・ウォーター北海道(株)事業企画部・再生エネルギーグループ

■脱炭素社会に向けたセクター・カップリング —デンマークの地域熱供給・熱利用及びバイオガスの事例から—

・田中いずみ デンマーク王国大使館商務部

■脱炭素社会の実現に向けた市民参加の取り組み —北海道グリーンファンドの取り組みについて—

・小林 ユミ 特定非営利活動法人北海道グリーンファンド

■再生可能エネルギー施設の立地の法的問題について —石狩市風力発電ゾーニング計画策定過程を参照して—

・菅澤 紀生 すがさわ法律事務所

■持続可能な開発目標 SDGs から見た脱炭素社会の実現

・山中 康裕 北海道大学大学院地球環境科学研究院

シンポジウム | “北海道らしい脱炭素社会を目指して”

開催日：令和3年12月22日（水）14:00～17:00 (YouTube ライブによる同時配信を予定)
(配信案内は当協会ホームページで案内)

場所：北海道大学 学術交流会館「講堂」（札幌市北区北8条西5丁目）

定員：100名（申込先着順） **ソーシャルディスタンス確保**

注）会場内はマスクの着用や手指消毒などの新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします。

パネリスト：執筆者より、石井一英氏、廣田誠一氏、田中いずみ氏、小林ユミ氏、山中康裕氏

ゲスト：堂田文良氏 北海道地域暖房(株)真駒内エネルギーセンター所長

開催概要：上記5名のパネリストによる報告のほか、“北海道らしい脱炭素社会”を目指した取り組みについてゲストを迎えディスカッションを予定しています。

参加方法：必要事項（会場参加またはwebによる視聴／氏名／所属／電話／E-mail／送付先の住所）を明記の上、下記問い合わせまでEメールまたはFaxでお申し込みください。

※参加申込を頂いた方に限り、冊子を配布します。（冊子の配布は無くなり次第終了します）

問い合わせ：（一財）北海道開発協会 開発調査総合研究所

E-mail：kenkyujo@hkk.or.jp / Fax 011-709-5225 / Tel 011-709-5213

URL：https://www.hkk.or.jp/

主催 （一財）北海道開発協会 開発調査総合研究所

参加費
無料